

おおたけ市議会だより

OTAKE CITY

2015
(平成27年)

11

No.183

◆ 正副議長挨拶	2 ページ	◆ 常任委員会 議会運営委員会	3 ページ
◆ 特別委員会 その他の委員会	4 ページ	◆ 会派の紹介 12月議会日程	5 ページ
◆ 第3回定例会	6 ページ	◆ 一般質問	8 ページ
◆ 議会日誌	13 ページ	◆ 陳情／請願／意見書	14 ページ
◆ 審議結果表	15 ページ	◆ スパイクインタビュー・あとがき	16 ページ

大竹中学校の幼稚園訪問
(H27.10.15 大竹中央幼稚園)

新体制が決まりました

9月定例会で、正副議長・各常任委員会・各特別委員会等の改選が行われました。



副議長 田中 実穂



議長 児玉 朋也

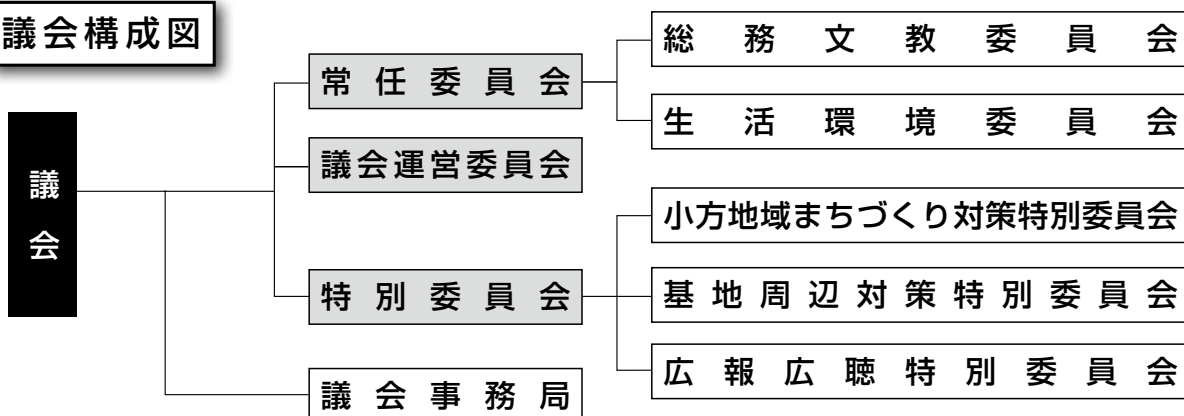
先般9月定例市議会におきまして、議長、副議長に選任いただき誠に身に余る光栄であり、決意を新たにこの職責を全うする所存です。

昭和49年に制定された市民憲章にあります「古い伝統と美しい自然に恵まれた郷土に誇りと自覚をもち、豊かで住みよい理想のまちをきずく」先人の思い・願いを原点として、市民に分かりやすい、市民の意思を反映させた、より信頼いただく議会を目指していきたいと思います。

第1回の議会報告会では、若年層の参加者は少なく、こうした世代の政治参加、議会への関心を促す仕組みづくりが、大竹市の未来に重要だと考えます。より一層議員が一体となり議会改革をさらに推し進めて、幅広い世代の市民の皆様の「意思」と、「市政運営」との距離を縮めたいと考えます。

また、財政面においては、市税収入の伸び悩み、扶助費・施設の維持管理費の増加など、厳しい状況化の中で、市民の皆様のご負担に應えるべく、最少の経費で最大の効果が期待できる政策立案の活性化を図り、市民と議会との信頼関係の構築に努めて参ります。今後とも一層のご指導ご支援をよろしくお願いいたしまして、議長、副議長の就任のご挨拶いたします。

議会構成図



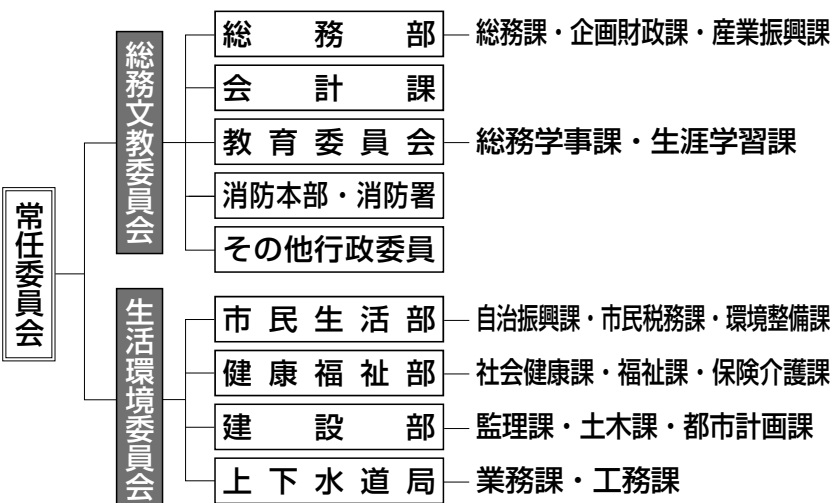
常 任 委 員 会

議会に上程された議案・陳情等の内容は広範囲にわたるため、担当を分け、それぞれの委員会で、調査・審査を行っています。

その後、本会議において、議員全員によって決定されます。

大竹市議会では、2つの常任委員会を設けており、必ずどちらかに所属することになっています。

常任委員会組織及び所管部署



総 務 文 教 委 員 会



【後列左から】

網谷 芳孝、大井 渉、寺岡 公章、
西村 一啓、北地 範久

【前列左から】

山崎 年一(副委員長)、原田 博(委員長)
児玉 朋也

生 活 環 境 委 員 会



【後列左から】

藤井 馨、田中 実穂、末広 和基、
日域 究、賀屋 幸治

【前列左から】

山本 孝三、細川 雅子(委員長)、
和田 芳弘(副委員長)

議 会 運 営 委 員 会

円滑な議会の運営のため、議会運営の全般について協議し、意見調整を図る場として設置された委員会です。

例えば、会期や議事日程の決定や議会関係の条例、規則等の取り扱いなどを協議します。

【委員長】寺岡 公章

【副委員長】網谷 芳孝

【委員】藤井 馨、山崎 年一
細川 雅子、原田 博

小方地域まちづくり対策特別委員会

市の発展に重要な役割を果たすと考えられる小方小学校・中学校が移転した後の跡地を中心とした小方地域のまちづくりについて積極的に議論するため設置された委員会

【委員長】細川 雅子 【副委員長】和田 芳弘

【委員】末広 和基 賀屋 幸治 藤井 馨 日域 究 田中 実穂
山本 孝三

基地周辺対策特別委員会

岩国基地への空母艦載機の移駐後は、騒音被害の増大や、事件・事故への不安など、市への多大な影響が懸念される状況の中、基地周辺対策について協議するため設置された委員会

【委員長】寺岡 公章 【副委員長】網谷 芳孝

【委員】児玉 朋也 北地 範久 西村 一啓 大井 渉 山崎 年一
原田 博

広報広聴特別委員会

市議会の活動状況について適切な情報をお伝えする「市議会だより」の編集発行、および、議会の広報広聴の在り方に関する事項の調査研究等を行うため設置された委員会

【委員長】山崎 年一 【副委員長】和田 芳弘

【委員】末広 和基 賀屋 幸治 北地 範久 西村 一啓 日域 究

大竹市農業委員会委員

山本 孝三

大竹市監査委員

網谷 芳孝

宮島競艇施行組合

【議会議員】

和田 芳弘 藤井 馨

寺岡 公章 原田 博

【監査委員】

山崎 年一

会 派 の 構 成

平成27年9月3日現在

会派とは、市政に対して同じ考えや意見をもった議員同士が集まり、議会活動を行うために結成された団体のことです。

会 派 の 名 称	所 属 議 員
市 民 の 味 方	◎大井 渉 藤井 馨 日域 究
民 政 ク ラ ブ	◎原田 博
風	◎山崎 年一
公 明 党	◎田中 実穂
大 竹 新 公 会	◎寺岡 公章 児玉 朋也 末広 和基 賀屋 幸治 北地 範久 西村 一啓 和田 芳弘 網谷 芳孝 細川 雅子
創 政 会	◎山本 孝三

※届出順 ◎印は代表者



ケーブルテレビで議会 中継をしています。

ケーブルテレビで本会議の様
様を生中継で見ることができます。

11月からチャンネルが
112 → 113
に変更しました。

詳しくは、
ふれあいチャンネルお客様センターまで
TEL 0120-276-201

12月議会日程(予定)

本 会 議

12月3日(木)

12月4日(金) (予備日)

12月17日(木)

常任委員会

12月7日(月)

12月8日(火)

市議会では予算や条例をはじめ行
政に対する一般質問など、住みよい
まちづくりをめざして審議をしてい
ます。
本会議、委員会とも傍聴できます
ので、議会がどのように運営されて
いるか傍聴してみませんか。
手続きは簡単で、所定の用紙に住
所、氏名などを記入するだけです。
(人数が多い場合は、人数制限をす
る場合があります。)

総務文教委員会

主な審査内容

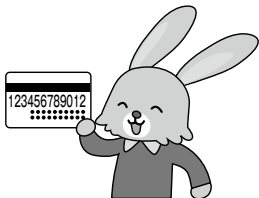
●大竹市個人情報保護条例の一部改正について

Q 個人番号カード（マイナンバーカード）を持たないといけな
いのかを問う。

A まずは10月に紙製の通知カードが国民へ送付される。その後、希望者には個人番号カードを1月から発行し、その際には紙製の通知カードは返還していただく。現在の制度の中では絶対に必要というわけでもない。

Q ひとり暮らしで入院していたり施設に入所していたりする方には届くのかを問う。

A 通知カードは地方公共団体情報システム機構から簡易書留郵便で送られる。住民票上の住所に住んでいない方については、送付先をどこにするのか、9月25日までに連絡していただきたい。



●平成27年大竹市一般会計補正予算（第1号）

Q 養殖漁業技術開発支援事業補助金について、「阿多田ハマチtoレモン」に関する予算である。今後これをどのように販売していくのかを問う。

A 生産者のほうで価格操作できるように販路体制、販売方法を構築して市場に打ってほしい。市内の鮮魚店や飲食店で販売をしながら、広島市内、全国へ向けて販路を拡大したいと考えている。

Q アゼリアホールを市民が使えないのはいつまでか。当初予算では安全対策のための改修ということだった。今回はその改修方法ではダメだったので再度設計をやり直すということだが、最初からそうすることはできなかったのか。

A 来年3月末まで天井工事を使えないと広報等でお知らせしたが工事内容が変わった。当初、概略を把握したうえで最も安いネット方式で進めることとしたが、設計の問題点がわかっていけば、より適切に対応できていたと考えている。使えるようになるのは平成28年9月頃になると見込んでいる。

●工事請負契約の締結について
玖波小学校改築工事（建築主体工事）

Q 建設予定地が土砂災害防止法上のイエローゾーン（※）に入っていると思うが、安全対策はどのようなになっているかを問う。

※イエローゾーン

住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域のこと
土砂災害警戒区域のこと

A 土砂災害警戒区域の対策について、まず、山の崖の部分は、既に土砂災害の対策が取られている。そして校舎の位置をなるべく崖から離すように配置している。さらに、校舎から2m程度山側に擁壁を設け、もし土砂が来た場合でもそこで止まると考えている。



玖波小学校完成予想模型

【反対討論】

○「危険なので建設場所を移動すべきであると、従来から提案してきた。この議案には賛成しかねる」

【賛成討論】

○「大竹小学校、小方小中学校が新しくなる中、玖波がこれまで手つかずだった。自分達の学校が新しくなるという非常に大きな期待がすでに子供たちにもあり賛成」

●その他の議案 2件

※採決の結果、すべての議案が
原案のとおり可決

【反対討論】

○「校舎の裏に作る高さ80cm厚さ20cmの擁壁では役立たないことを昨年の広島豪雨が教えてくれた。子ども達の安心安全を真剣に考えて欲しいという声を受け反対」

【賛成討論】

○「どこを探してもリスクゼロの場所は皆無。その中で可能な限りの安全策を講じているので、新校舎完成を楽しみに暫定的に玖波中に通っている児童の為にも賛成」

本会議での採決の結果

原案のとおり可決



生活環境委員会

主な審査内容

●平成26年度大竹市水道事業会計決算の認定について

●平成26年度大竹市工業用水道事業会計決算の認定について

●平成26年度大竹市公共下水道事業会計決算の認定について

Q 厳しい財政の中で、水道料金の値上げについてどのように考えているのか。

A 水道ビジョンの後期計画の中で老朽化施設の改築更新や耐震化の計画を策定作業中である。策定後は、投資される資本的支出の額がある程度明確になるので需要に沿った資金収支計画を立てていくことになる。その中で安定給水を維持するための料金体系について考えていきたい。

Q 防鹿地区下水道工事の受益者負担について、家が建つのか分らない畑などに、マスを設置した場合、受益者負担を負担しなければならぬのかを問う。

A 基本的には、受益者負担金の賦課区域として公告をした土地に

ついてはすべて受益者負担金が掛かるが、防鹿地区は市街化調整区域であるので、将来的に家が建たない畑、山林、雑種地等についてどのように取り扱うかは今後の検討事項である。

Q 昨年の8月のような集中豪雨があると小島潮遊池のポンプの排水が間に合わないが、今までの計画、1時間49・7mmの降雨量を再検討する考えはあるのかを問う。

A 雨水排水の雨量基準について、現段階では1時間49・7mmで計画するとしか言えない。仮に、大きいものを作った場合は、国の補助金を申請することが難しいと考えている。

また、この度、下水道認可第14次の変更の中で、降雨強度式の検証は行ったが、結果を見ても49・7mmという数値は、妥当と考えている。



●平成27年度大竹市介護保険特別会計補正予算（第1号）について

平成27年7月1日、広島県西部認知症疾患医療センターに、地域包括支援センター・認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員を併設した「合併型センター」が開設されたこと等に伴い、歳入・歳出に、1,132万1千円を増額するもの。

Q 循環型認知症医療・介護連携システム推進事業について、いまままで違うものを始める場合、何を目標しているのか問う。

A 合併型センターに認知症に関する機関を集中させ一貫して対応していくというモデル事業である。4つの機関が連携し認知症の方から家族までを専門的、包括的に支援することにより、認知症の初期の段階の方から治療を必要とする方までのワンストップ対応を行うと共に、認知症の方が在宅での生活を中心としながら必要に応じて適宜、施設に入所できるといような循環型の仕組みを構築していく事業である。

Q 既に地域包括支援センターは7月1日に開設をされている。補正予算は、今年度の事業費であると思うが、来年度以降はどのようなのか問う。

A 財源については、来年度も県から支出していただけたと考えている。額については、今回の補正が半年分であるので倍程度と認識している。



地域包括支援センターを含む合併型センターが開設された病院

●その他の議案 3件

※採決の結果、すべての議案が原案のとおり可決



本会議での採決の結果

原案のとおり可決

山本 孝三

- マイナンバー制度について
- 新町3丁目に建設予定の排水ポンプ場について
- 市道・生活道の維持・管理について

大井 渉

- 小方まちづくりの課題について問います
- 最近の選挙で投票率が低下しています。方策と今回の選挙結果について問います

山崎 年一

- 「安全保障関連法案」について
- 連携中枢都市圏構想について
- 乳幼児等医療費支援について
- 元町・本町・白石・新町・油見地区の公共交通・阿多田島の定期船船賃の助成について

原田 博

- いかにして安心して子育てができるのか、いかにして子どもたちが健やかに生活できるのか、大竹版不安のない子育て環境を目指した対応についてを問う

寺岡 公章

- 巨石アートに見る地域資源の活用
- 人材や企画財産を活用したまちづくり

藤井 馨

- 自然災害の中で特に雨水排水に強い安心安全なまちづくりの取り組みについて伺います

細川 雅子

- 「すべての女性が輝く大竹市」に取り組みましょう

日域 究

- 都市計画道路「駅前油見線」の早期完成を
- 出火原因が「タバコの火の不始末」と書いてある、その根拠を問う

和田 芳弘

- 老朽化により、倒壊の恐れのある空家対策について

賀屋 幸治

- J R小方新駅設置促進と周辺整備計画の進捗状況について

質問者 山本 孝三

マイナンバー制度について

住基システムはインターネットと切り離して運用しています

【問】市民への周知、理解について、どう取り組まれていますか。個人情報情報が大量に集積され、情報漏えいの不安・心配が大きい、安全対策は万全でしょうか。

一兆円商戦と言われるこの制度の運営に必要な費用負担はどのようになりますか。

【答】制度周知は、国はテレビ、新聞、ラジオ、インターネットなどで、市は通知カードの発送に合わせ、市広報10月号でお知らせする予定です。

情報漏えい防止対策は、住基システムをインターネットと切り離していますが、国のガイドラインに従いセキュリティ対策が必要と考えます。

基幹業務系システムの改修費用は、現在約9,500万円で、補助額約3,400万円、一般財源約6,100万円を見込んでいます。今のところ新たに経費が必要な業務は想定していません。

新町三丁目に建設予定の排水ポンプ場について

雨水排水と汚水のバランスを取り、公共下水道事業を進めます

【問】都市計画区域内の、雨水排水について、昭和47年に新町三丁目に排水ポンプ場の計画、平成9年に用地買収がされ、昨年12月、事業計画案が示された。早期実施にどう取り組まれますか。

【答】新町雨水排水ポンプ場の建設は、水路施工と道路整備を一体的に行うため、下水道事業全体のバランスと財政状況を考慮し、市全体のまちづくりの視点で判断していきます。



大竹市土地開発公社が先行取得した新町ポンプ場建設予定地

【その他の質問】
○市道・生活道の維持・管理について

質問者 大井 渉

小方まちづくりの
課題について問います

公民館については地元の皆様との協議をしていきます

問 数年の内に何十億円ものお金が小方地域で動きます。旧小方小中学校跡地にともなう投資、市道の付け替え、公民館の存続や晴海地区への大型商業施設の新規出店など大竹のまちづくりを左右するべき事業です。また、小方新駅を建設すると総合計画には明記しています。市民や地域住民に方針や時期、財源などを説明されましたか。あわせて今後のスケジュールを問います。

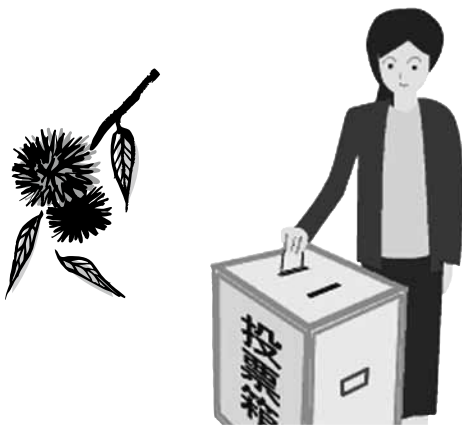
答 新駅設置を前提に、都市計画マスタープランに基づき、旧小方小中学校跡地とその周辺整備の基本構想を策定します。市道の付け替えは、広島国道事務所において、道路の詳細設計が進められ、大型商業施設については、大規模小売店舗立地法に基づく新設届け出が提出されています。公民館の研修室部分は残るため、その活用方法は、地元の皆様と協議しながら、決めていきます。

最近の選挙で投票率が低下しています。方策と今回の市議選の選挙結果について問います

投票の機会の拡大と
啓発を行います

問 最近の選挙での投票率の低下が懸念されます。また異議申出があったようですが、選挙管理委員会の対策と内容をお聞きます。

答 投票率の低下については、投票機会の拡大と啓発を進めます。異議申出については、申出に関する投票の開披再点検を行い、選挙管理委員会で審理のうえ決定します。



質問者 山崎 年一

子どもの医療費助成について

制度の在り方について
検討しています

問 現在15歳まで通院費や入院費を助成する自治体が増加し、全国的には完全無料化が当たり前になりつつあります。入院・通院費の中学生までの拡充と、一部負担金と所得制限の廃止を検討しませんか。

答 全国の自治体の状況は、中学生以上も助成の対象範囲としているところが増えており、現在、担当部署において制度の在り方について、検討しているところです。

公共交通について

地域の方と一緒に
考えていきます

問 元町・本町・白石・新町・油見地区の高齢者は「公共交通を整備してほしい」と悲痛な叫びをあげられています。未整備地区への取り組みを問います。阿多田地区住民は、船賃が往復1,400円かかり、また、米

軍基地による騒音被害が増大してきています。島民生活を支援するため再編交付金での助成を問います。

答 本市では、公共交通を利用する市民自らが、公共交通を創り・守り・育てることを基本方針としています。該当する自治会とは、これまでと同様に勉強会から始めたいと考えています。

また、阿多田地区では再編交付金を使い、診療所医師の常駐の確保などに取り組んできました。どのような支援があれば住みやすい地域となるか、皆様と話し合っていきます。



【その他の質問】

○「安全保障関連法案」について
○連携中枢都市圏構想について

質問者 原田 博

大竹版不安のない子育てを

目指しましょう

きめ細やかで
継続性のある対応に留意します

問 全ての子ども^{すべて}の未来は、社会全体が等しく保障すべきです。

障害児・貧困家庭・ひとり親家庭であっても、個々に応じた不安のない子育て支援が展開されていくことが重要です。

そのような状況下、厚労省では、『妊娠・出産包括支援モデル事業』を展開しています。一方、大竹市では、今後の子育て施策の方向性を示した「大竹市子ども・子育て支援事業計画」を策定しています。私としては、それらをリンクした大竹市子ども支援課の設置など、組織体制の見直しを含めた「大竹市版切れ目のない妊娠・出産・子育て包括支援事業」の実現を求めます。

併せて、小方小中一貫教育実施に伴う現状・課題を問います。

答 子どもの発達段階に応じた各種サービスの提供に加え、特に

見守りが必要な、課題があると思われる家庭や、支援が必要な家庭には、庁内関係部署や関係機関が迅速に連携し、日頃から情報共有や意見交換を行うことで、保護者が安心した子育てができるよう、きめ細やかで継続性のある対応に留意しています。本市の規模に合った支援体制のあり方については、今後も検討を重ねます。

小方学園は9年間を見通した教育課程の編成・実施、校種の枠を超えた指導体制や指導方法等の確立により、児童生徒の学習意欲や規範意識の向上、中一ギャップの解消などが、また、コミュニケーション能力や豊かな人間性の育成が図られていると考えています。



質問者 寺岡 公章

人材や企画財産を

活用したまちづくり

市民と行政の協働により
地域課題の解決を推進したい

問 市制施行60周年記念事業では、職員協働や市民提案の事業などで多くの企画が誕生しました。今後これらをどのように活かしますか。

またこの間の情報発信は、職員がチームを発足して行われましたが、ここで培われたノウハウは、今後どう継承されますか。

答 今回の取組を今後につなげ、市民自治を推進したいと考えています。

また、大竹を愛する人づくりに繋がる情報発信として、大竹に対する誇りを持てるよう意思を持った広報をしてきました。これからそのような広報を続けたいと考えています。

巨石アートに見る

地域資源の活用

暴力監視追放協議会の皆様と

連携し検討したい

問 市内各所に設置されている巨石アートは、市民の自主的な活動によって生まれ、大竹の新しい地域資源として注目されています。

市民自治促進の考え方のもと、今後、市民活動から生まれたこの資源をどう活用していきますか。

答 現在、複数の巨石アートを巡る健康づくり事業などで使用されていますが、記念写真を撮る方もいるようで、徐々に観光的な要素も出てきていると思います。もつと色々な形で活用できると思いますが、広く発信することで面白い活用策が現れてくるのではないかと思います。



質問者 藤井 馨

竹藪は土砂崩れが起こりやすい。管理について伺います

所有者の申し出により、制度を活用した整備は可能です

問 竹藪の状況を把握していますか？北広島町では「せどやま再生プロジェクト」を立ち上げて、間伐材をバイオマス燃料として活用し、地域の活性化に取り組んでいます。竹の活用で地域の活性化と土砂災害の予防になると思います。放置して災害が起きると人災になるかもしれません。お考えを伺います。

答 バイオマス燃料は、広大な竹林の面積も必要だと思いますので、他県、他市の状況を勉強し、大竹に適するかどうか検討したいと考えています。

竹藪は、私有地であれば持ち主に管理していただくのが前提です。しかし、「ひろしまの森づくり事業」という制度の中に、里山を竹林の侵食から守る事業があります。所有者から申し出があり、要件に該当すれば、この制度を活用して整備を行うことは可能と考えています。

松ヶ原地区の河川内の

葦の管理について伺います

現地調査をおこない、対策を講じます

問 松ヶ原地区の出合川、森の谷川、恵川の葦がかなり繁っており、雨水時に増水し、不安を感じています。葦の除去についてどのように考えているのか伺います。

答 現地調査を行い、増水時の葦が倒れた状況と河川断面の検討を行い、対策を講じていきます。



恵川の落合橋付近

質問者 細川 雅子

「すべての女性が輝く大竹市」に取り組みましょう

引き続き、男女共同参画社会の実現に取り組みます

問 「すべての女性が輝く政策パッケージ」にみられるように、国は短期的集中的な経済成長のけん引力として女性の活躍に期待し、様々な環境整備を進めています。大竹市においては、この国の動きをどのように捉えていますか。また、具体的な動きがありますか。

平成27年9月施行の「女性の活躍推進法」で義務化されている特定事業主行動計画の策定について市の対応をお答えください。

「大竹市男女共同参画プラン」は平成11年に策定されました。平成24年度に見直しがされ、現在は平成32年度を目標年度としています。現状と今後の取り組みについてお尋ねします。

答 働く意欲のある女性が、働きやすく活躍できる環境を整えることは、これからの社会が発展する一助になると考えています。県内では、昨年4月に、女性の働きやすさ日本一を目指し「働く女性応援隊ひろしま」が結成され、本市も一員となり、取組促進を支援することを宣言しています。また「女性活躍推進法」は、国や地方公共団体、従業員30人以上の民間事業主に行動計画の策定を義務付けており、本市も特定事業主行動計画を策定します。

今年行った、人権意識アンケートでは、平成16年度より、女性の社会参加、社会での活躍を肯定する回答の率が高まっていました。今後も引き続き、職場や地域に男女共同参画への理解や意識を広めていきます。



質問者 日域 究

都市計画道路「駅前油見線」を
完成させませんか

都市計画道路事業の進捗や
財政状況を踏まえて判断します

問 大竹駅前から山手に伸びる路線は40年前に半分完成した後は放置。油見トンネル交差点の大混雑とは対照的にこの道路を走る車はわずか。平成20年油見の地区懇談会で市長は「非常に優先度の高い道路だが財源不足で過去に断念した経緯がある。だから都市計画税を導入させて頂いている」と説明されました。しかし、着手出来ない本当の理由は都市計画決定と違う少し曲がった道を作り、それを直すよう県に指摘された為ではありませんか。平成10年の市の公文書が存在します。今こそ過去の誤りを認め、市民に隠さず説明した上で道路を完成させませんか。私も協力します。道路はつながってこそ価値を生むもの。放置による被害者は予定地の地権者、そして全市民です。

答 駅前油見線は昭和38年に都市計画決定された路線で、大竹

駅前広場から西側市道までの約220mは完了していますが、中市立戸線までの約150mは未整備となっています。

駅前油見線を施工した昭和50年以降は、玖波青木線、中市立戸線、大竹駅東口整備事業を重点的に進めており、財政状況等の問題もあつたため、平成16年度以降は新たな都市計画道路事業に着手できていません。

駅前油見線は、整備の必要性が高い路線と認識しており、未整備区間の早期供用が望ましいと考えます。

しかし、現在は大竹駅の橋上化を含む大竹駅周辺整備事業を進めており、未整備区間の整備は都市計画道路事業の進捗や財政状況を踏まえて判断したいと考えています。



質問者 和田 芳弘

老朽化により倒壊の恐れのある
空家対策について

所有者への通知等、空家対策に
取り組んでいきます

問 危険な空家に対し、国は今年5月26日に「空家等対策の推進に関する特別措置法」を全面施行しました。倒壊の恐れのある、また、不衛生で著しく景観を損なわれているなど該当する空家を「特定空家等」と定義し、自治体の判定により特定空家等の所有者に助言、指導、勧告命令を出すことができるようになります。

本市では、措置法を活用するには詳細な基準や運用内容を定めた「大竹市空家等対策計画」を策定する必要があるといわれていますが、どの程度まで進んでいますか。

また、「大竹市空家等対策計画」を策定するまでに老朽家の所有者に解体のお願いの手紙や現状の写真など送る予定はありますか。

答 国において、「空家等対策の推進に関する特別措置法」が成

立、全面施行されたことにより、固定資産税情報の内部利用が可能となり、空家の所有者を把握するための情報が得られるようになりました。また、空家の所有者に対する適切な管理の指導や勧告、命令、従わない場合の行政代執行も可能となりました。

本市においては、空家のうち、特に危険があると判定した17戸の所有者へ通知を送付し、適正な管理を促していく予定です。また、「大竹市空家等対策協議会」を設置するため、「大竹市附属機関設置に関する条例」の改正を準備しています。

今後も、県や県内各市町、関係団体、関係各部署と連携をとり、空家対策に取り組んでいきます。



質問者 賀屋 幸治

JR小方新駅設置促進と周辺整備計画の進捗状況について

小方新駅を核として、活用策の指針となる基本構想を策定します

問 市が今後の地方都市間競争を勝ち抜いてまちの発展を継続していくために小方のまちづくりを考える上でJR小方新駅設置と周辺整備は必須条件であると思うが、新駅設置については平成12年に陳情が採択され、その後も地元関係者等との協議を重ね平成22年3月の小方新駅期成同盟会との意見交換会でも新駅設置の方向性は既に確認されている。その後、5年以上経ち、未だ具体的な(案)も示されていないが、新駅設置の取組み状況と周辺整備計画の進捗状況について問う。また、まずは駅周辺基本構想の策定など早期に必要な作業に着手できないかを問う。次に、晴海の未利用地約7ha(県有地)について、本市のまちづくりに沿った利活用はできないのかを問う。

答 旧小方小・中学校跡地の活用は、小方新駅を核として一帯の

土地を幅広く活用できるようにすることで、多様なアイデアや手法による整備が進むものと考えています。

まず、駅舎の位置や道路を決め、区割りしたエリアの活用の方性を、都市計画マスタープランに基づいて検討し、全体の指針となる基本構想を策定したいと考えています。

県が分譲する晴海商業施設用地の残り区画の約4・7haは、引き続き魅力的な商業施設等の誘致に努めていたきたいと考えます。また隣接する約2・3haの緑地を利活用しようと思えば、土地利用の変更を含め、にぎわい施設の誘致等についても県に要望していく必要があると思います。



議会日誌

9月 3日 本会議
総務文教委員会
生活環境委員会
4日 本会議
生活環境委員会
議会運営委員会
8日 議会運営委員会
15日 本会議
16日 本会議
議員全員協議会
広報広聴特別委員会
17日 総務文教委員会
総務文教委員政策研究会
18日 生活環境委員会
生活環境委員協議会
生活環境委員政策研究会
24日 議会運営委員会

29日 本会議
議員全員協議会
決算特別委員会
基地周辺対策特別委員会
小方地域まちづくり対策特別委員会
10月 2日 決算特別委員会
総務文教委員会管内視察
5日 生活環境委員会管内視察
8日 決算特別委員会
13日 広報広聴特別委員会
14日 広島県市議会議長会臨時会
15~16日 決算特別委員会
19~20日 決算特別委員会
23日 議員全員協議会
基地周辺対策特別委員会

【視察来訪】

10月 7日 富山県砺波市議会
ごみ処理施策について
22日 神奈川県南足柄市議会
公共交通について
26日 兵庫県芦屋市議会
自治体クラウドについて

9月~10月

陳情・請願・意見書

【まちづくり対策特別委員会付託】

●小方小学校移転跡地に「公園」設置陳情

・継続審査・

陳情者

小方二丁目南自治会

会長 飯森仁志 氏

小方一・二丁目北自治会

会長 柴崎雅文 氏

小方二丁目自治会

会長 木本光彦 氏

【生活環境委員会付託】

●晴海臨海公園整備事業における多目的ゾーン等の早期整備及び多目的ゾーン内に人工芝エリアを整備することを求める陳情

・継続審査・

陳情者

大竹市体育協会

会長 冷泉洋治 氏

大竹市自治会連合会

会長 岡野俊彦 氏

大竹市老人クラブ連合会

会長 正木敏夫 氏

大竹市スポーツ推進委員協議会

会長 清永恵三 氏



【生活環境委員会付託】

●市営御園アパート6号棟建設予定地の変更を求める請願

・不採択・

請願者

大竹市御園二丁目3番3号

宮本邦生氏ほか29人

○岩国大竹道路建設に伴う市営御園アパート取り壊しに伴い、居住者の主要な予定移転先である御園6号棟は「市営住宅設置及び管理条例施行規則」に照らしてふさわしいとは言えず、十分に検討して予定地の変更をすること。

○建設に着手する前に、説明会を開き、住民の同意を得ること。

など4項目

※継続審査の意見が提出されたが、起立採決の結果、否決

本会議へ

【反対討論】

○「広島県も去年の災害を考慮しながら厳しく開発許可の審査をするはずなので信頼し、今の段階で予定地を変えろ」という請願には賛成できない」

【賛成討論】

○「明らかに検討される場所であり、市営住宅居住者に説明もなく要望も聞いていない。全体計画の中で再検討すべきであるので採択すべき」

【総務文教委員会付託】

●少人数学級の推進などの定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択について

・採択・

請願者

連合広島大竹・廿日地域協議会

議長 堀谷俊志 氏

広島県教職員組合ひろしま地区支部

大竹支区分区長 川村須磨 氏

少人数学級の推進などの定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書（抜粋）

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要です。子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成・創出から雇用・就業の拡大につなげる必要があります。

よって、政府におかれましては平成28年度の予算編成に当たり、次の事項について実施されますよう要望します。

記

1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国負担割合を2分の1に還元すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成27年9月29日

大竹市議会

（提出先）

内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣



「市政のあらまし（平成27年度版）」 を販売しています。

1冊1,000円

市のあゆみ、人口規模や予算・決算状況をはじめ、市の業務全般にわたる状況が集約されています。（予算・決算についてはホームページで公開しています。）



議会事務局で販売しています。
大竹市情報公開コーナー、図書館等でも
閲覧できます。

スマイルインタビュー 掲載団体(個人)募集！

大竹市議会だよりの最終ページ（今月号では16ページ）に掲載する団体・個人を募集します。

文化・伝統に関する団体・個人

（利益を追求した団体・個人ではないこと）

が条件となります。

次号は平成28年2月号です。

自薦、他薦を問いません。詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ先

大竹市議会事務局

☎ 59-2183



第3回市議会（定例会） 議案の審議結果表（主な議案）

	議 案 な ど	児 玉 朋 也	末 広 和 基	賀 屋 幸 治	北 地 範 久	西 村 一 啓	和 田 芳 弘	大 井 渉	網 谷 芳 孝	藤 井 馨	山 崎 年 一	日 域 究	細 川 雅 子	寺 岡 公 章	原 田 博	田 中 実 穂	山 本 孝 三	審 議 結 果
議案第45号	大竹市手数料条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第46号	市道路線の認定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	平成27年度大竹市一般会計補正予算（第1号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第48号	平成27年度大竹市介護保険特別会計補正予算（第1号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第50号	工事請負契約の締結について 〔玖波小学校改築工事（建築主体工事）〕	—	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案第51号	工事請負契約の締結について 〔玖波小学校改築工事（機械設備工事）〕	—	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案第52号	工事請負契約の締結について 〔玖波小学校改築工事（電気設備工事）〕	—	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	原案可決
平成27年 請願第3号	市営御園アパート6号棟建設予定地 の変更を求める請願	—	●	●	●	●	●	○	●	○	○	○	●	●	●	●	●	不採択

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。 —：議長 ○：賛成 ●：賛成でない



第10回 スマイル インタビュー



活動内容を教えてください。

このクラブは、家庭科という教科に属するクラブです。クラブで学んだことを活かし、学校内外の課題等を見つけ、解決しようと取り組んでいます。土日は、イベントなどで地域に出ていき、普段は「大竹特産品アイデア料理の研究」をしています。

大竹と一緒に元気にしていきたいと頑張っています。

どんな特産品ですか？

大竹産のいちじく、しいたけ、栗、米粉、阿多田のハマチなどです。米粉については、米100%でお菓子を作るのになかなか苦労しています。今、栗のペーパーストやハマチを載せた100%米粉ピザ生地のメニューを考えています。



阿多田でハマチの養殖見学
阿多田島漁業協同組合員の中森さんと

レシピ数はどの位あるのですか？

現在21種類です。中でもおススメは、調味料まで地元産こだわった和風コロッケの「おお茸WAZU!コロッケ」と「和ドレーヌ」です。

「和ドレーヌ」おいしそうですね。

イチジクジャムと白あんを生地に入れ、おいしそうに見えるように栗を真ん中にドレーンと載せた米粉で作った和風マドレーヌです。

このクラブの魅力は？

地域の人とふれあえることだと思っています。これは変わらず続けていきたいと思っています。去年と今年は、中学生や小学生との料理教室を開催しました。楽しかったです。

今後の活動を教えてください。

11月8日開催の「コイ・こいフェスティバル」では、私たちの活動をPRするために試食会をする予定です。ぜひぜひお越しください！(^^)!



左から
きのしたあけみ 木下明美さん、
たちばなまゆ 立花真優さん、
さかいまゆみ 坂井麻友美さん、
やまがたあゆみ 山縣歩美さん、
ふるかわなつき 古川菜月さん

あとがき

広報広聴特別委員会は7名で構成され、かぎられた紙面の中で、議会の活動や出来事を市民の皆さまに、的確にお伝えするために活動しています。

市政の課題や議案等について「今、何がどのように議論されているのか」など、できるだけわかりやすくまとめるよう努力しています。

今後、市民の皆さまと情報を共有しながら、市民と議会の架け橋となる、読みやすく親しみやすい市議会だよりを目指し、市民の皆さまのご意見をいただきながら、2年間しっかりと責任を果たすべく頑張っています。

なお、お気づきの点がありましたら、お気軽に広報広聴特別委員会にご意見をお寄せください。よろしくお祈いします。(TEL 591-2183)



9月から新しい委員で頑張ります。
よろしくお祈いします。



広報広聴特別委員会

委員長
副委員長

山崎 年一
和田 芳弘
末広 和基
賀屋 幸治
北地 一範
西村 啓久
日域 究

発行・平成27年11月1日 大竹市議会 広島県大竹市小方二丁目11-1 TEL 0827-5912183

市議会だよりは市のホームページにも掲載しています。